

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **760** February 2022

Special Issue : David Graeber and His Vision of Freedom : Focusing on the Issues of Labor and Resistance (2)

- Introduction to the Special Issue SUZUKI Munenori
- Break the Curse of Infrastructure:
Re-interpreting Labor of Yoseba HARAGUCHI Takeshi
- Prefigurative Politics, Caring Classes, and Basic Income:
An Oral History on a Working-Class Women's Liberation
Movement in the Long 1970s Britain..... YAMAMORI Toru
- Toward the Revolt of the Caring Classes: A Case Study of the Migrant
Domestic Workers' Movements in New York City..... MORI Chikako
- Capitalism, Mutual Aid, and Material Life: Understanding Exilic Spaces
..... Denis O'Hearn, Andrej Grubačić
- The Translator's Note: For People Living in Exile..... HAGA Tatsuhiko

Book Review

- MATSUO Koichi, *A Comparison of White-Collar Trade Unionism
between Japan and the UK: Focusing on the Public Sector*..... TAGUCHI Norio

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting TOMITA Yoshinori

The Institute's Activities in October 2021

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

760 2022.2

【特集】D・グレイバーと自由への展望——〈労働〉と〈抵抗〉をめぐって(2)

- 特集にあたって 鈴木宗徳 1
- インフラの呪縛からの解放——寄せ場の労働を再解釈する 原口 剛 3
- 1970年代イギリス労働者階級の女性解放運動とベーシックインカム
——ケアリング階級の予示的政治 山森 亮 20
- 「多様なケア階級の反乱」に向けた一考察
——ニューヨーク移住家事労働者の運動を手がかりに 森千香子 43
- 亡命的空間の理解に向けて——資本主義, 相互扶助, 物質生活
デニス・オハーン, アンドレ・グルバッチ/芳賀達彦 訳 58
- 訳者解題——亡命の人に向けて 芳賀達彦 80

■書評と紹介

- 松尾孝一著『ホワイトカラー労働組合主義の日英比較
——公共部門を中心に』 田口典男 86

社会・労働関係文献月録 91

月例研究会 富田義典 94

所 報 2021年10月 95

発 行 / 法政大学大原社会問題研究所

発売所 / 法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2021年版 第91集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

— おもな内容 —

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
- 《特集1》 コロナ禍の雇用・暮らしへの影響とその構造的背景・政策課題
- 《特集2》 医師の長時間労働問題と労働運動
- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策
- 《付録》 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

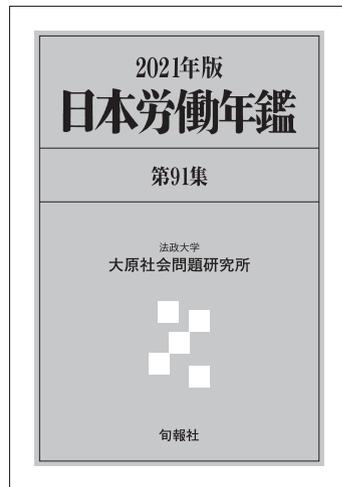
本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心を呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します



本体16,500円(税込)
A5判・上製・568頁

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.738 2022年1月号 定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

特集「失業・雇用調整・労働移動」

- 提言 転職市場の経済分析 照山 博司
- 論文 日本の労働力フローの実態——労働者の属性別フローの特徴と
正規・非正規雇用を巡る近年の動向 ジュレン・エステバン・ブレテル
- 2020年のCOVID-19下の就業
——労働力調査を用いた労働者への影響の異質性の検証 深井 大洋
- 紹介 コロナ禍におけるUAゼンセンの雇用確保の取り組み 松浦 勝治
- 論文 地域金融機関による人材紹介 家森 信善 / 米田 耕士
- 転職のマクロ経済学 向山 敏彦
- パンデミック下の米国労働市場の調整について 藤田 茂
- 書評 中原淳・保田江美 著『中小企業の人材開発』 脇坂 明
- 今井順 著『雇用関係と社会的不平等
——産業的シティズンシップ形成・展開としての構造変動』 森山 智彦
- 論文Today 伝統への挑戦?——ドイツにおける争議権保障と国際法秩序との相克 早津 裕貴
- フィールド・アイ 行政データを駆使したコロナ禍検証 (スウェーデンから①) 奥山 陽子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2021年12月号
76巻12号

12

定価 1,200円(税込)
年間購読 13,000円(税込)

創立100周年記念特別号

- 理事長挨拶 濱野 潤
- ご祝辞 伊藤正明, 大原謙一郎, 藤田晴哉
- 鼎談 100年に学びつつ、今と未来を語る
..... 桜美林学園理事長 小池一夫, 大原記念労働科学研究所理事長 濱野 潤
- 「働き方の未来を50人が読む」調査報告 酒井一博
- レポート 地域連携 倉敷と労働科学研究所 編集部
- 産学連携の今 日本労働科学学会の設立と活動 酒井一博
- 桜美林大学との連携 山口有次, 境 睦
- 連続講座について 坂本恒夫
- 労働科学とともに 岸田孝弥, 肝付邦憲, 小木和孝, 齊藤 進, 福成雄三
- 研究報告 労働科学研究所研究員
- 労働科学研究所: 年表 1921-2021



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
桜美林大学内3階 TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: http://www.isl.or.jp/